

社会科（公民的分野）学習指導案

日 時 平成29年10月5日（木）5校時
生徒 第3学年 19名
授業場 3年生教室

I 単元名 現代の民主政治

II 単元目標

- ・身近な地域や国の政治の動きや民主主義の手順による決定方法に関心を寄せ、調べる態度を養う。
【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ・選挙による政治的代表者の選び方や各種政治参加の在り方について自らの考えを発表する力を養う。
【社会的な思考・判断・表現】
- ・政治の動向を新聞記事や統計資料などを通して把握し、批判的な視点も含めた分析力を養う。【資料活用 of 技能】
- ・民主主義に基づく政治の枠組みや政治を動かす世論・報道の影響について理解する力を養う。【社会的事象についての知識・理解】

III 単元について

1 単元観

現代の日本政治は、国民主権に基づく議会制民主主義が条件となっている。国民の選挙によって選ばれた代表者が日本の政治が進め、諸々の社会的課題に対応している。民主主義による政治は国民の意思が反映され、国や地方公共団体の政治的方針が法（又は条例）や予算という形で決定される。議会による決定の手順・政党の存在・世論の圧力・マスコミの報道など政治の方向性を決める要因はあちこちに存在する。それらの影響力の程度によって政治は大きく動き、将来的に社会の変化をもたらす。政治を動かす枠組みと有権者として政治に関わる基本が主な学習内容となる。

2 生徒観

（削除）

3 指導観

卒業を控える中学3年生は、自分の進路を選ぶ際、将来の社会像に強い関心を持たざるを得ない。社会のしくみの変化は自分の生き方に大きな影響を与えるため、無関心では実社会の中で、たくましく生きていくことはできない。政治の方向性によって国内及び国際社会は変容し、国民生活や国際関係を新たな形へと切り替えていく。国民として政治に関わるには、民主主義の基本を理解し、選挙以外にも政治に参画する意思や行動が大切になる。また、建設的な批判力とともに改革的主張にも配慮しなければならない。中学生として政治の手順や法の成立など実例を通して学び、政治的動向に関心を高めていけるような指導につなげていきたい。

IV 単元指導計画

単元名		現代の民主政治			
時	学習内容	評価の観点及び評価項目			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	政治的代表者の選択とその理由	政治に関心を持ち、政策について意欲的に意見を出している。	地域の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、多面的・多角的に考察し、発表している。		
2	民主主義による政治と決定方法		民主主義が市民の犠牲と歴史的積み重ねの上に成り立っていることを踏まえてまとめている。		議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。
3	選挙を通じた政治参加とその課題		政治的代表者を選ぶ選挙において、その課題を多面的・多角的に見据え、解決策の長短をまとめている。		選挙をする意味と日本の選挙制度について理解している。
4	政党のはたらきと政治的影響	日本の政党政治の動きについて関心を持ち、気がついたことを発言している。			政党の役割と働きについて理解している。
5	情報の収集と主権者としての判断・提案		新聞記事の内容で気がついたことや考えたことを適切に書き出し、発表している。	必要となる新聞記事の要点を的確に読み取ってまとめている。	

V 本時案

1 本時の目標

- (1) 世論を背景に社会的問題に対処する政治について、困難な点を解決する考えを発表する力を養う。【社会的な思考・判断・表現】
- (2) 新聞記事や統計などの資料の読み取り、その資料の中にある情報や考え方を把握する力を養う。【資料活用の技能】

過	学習活動	思考	□教師の働きかけ ◆評価の方法
---	------	----	-----------------

程			
導入 10	<p>1 記事から現状を理解する。【情報の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンチョウが課題となる理由を資料から読み取る。(グラフ：増えるタンチョウ) <p>タンチョウ = 守るべき鳥か？</p> <p>2 記事を参考に自分の意思を明らかにする。【情報に基づく判断】</p> <p>保護継続へ ⇔ 野生回帰へ</p> <p>自分のプレートを黒板に貼る。</p>	個	<p><input type="checkbox"/>記事からタンチョウが年々増えている傾向を読み取れるようにする。(なぜタンチョウが増えると課題になるのか?)</p> <p><input type="checkbox"/>得られている情報から一定の判断ができるようにする。(タンチョウに対する政策に意見を持つ)</p>
<p>めあて：私たちはタンチョウと生きていけるか？</p>			
展開 30	<p>(班を作る)</p> <p>3 タンチョウと共生できる方法を話し合い、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンチョウが増えた結果の両面性から解決策について意見を出し合う。 <p>【解決策（意見）の検討】</p> <p>「良くなったこと」</p> <p>タンチョウを見に来る人が増えた タンチョウで鶴居が有名になった タンチョウの商品が作られた</p> <p>「良くならなかったこと」</p> <p>牛のえさが横取りされた 鳥の病気が広まりやすくなった タンチョウの事故が増えた</p> <p>4 タンチョウと共生できる方法を専門家に提案する。【解決策（意見）の提案】</p> <p>「タンチョウと共に暮らしていくために…」</p> <p>(例)牛舎ではタンチョウが嫌いな音を流す 自然のえさを取りやすい場をつくる 他の地域に連れていく</p>	班	<p><input type="checkbox"/>班員で司会・記録などを分担するように指示する。</p> <p><input type="checkbox"/>記事中の「良くなったこと」「良くならなかったこと」を踏まえて意見を付箋に書くように促す。</p> <p>◆タンチョウが増えた結果の両面性に基づいて意見を書いている。</p> <p><input type="checkbox"/>得られた情報から自らの目線で解決策を話し合うように指示する。</p> <p><input type="checkbox"/>人々の暮らしとタンチョウが両立できるような提案を促す。</p> <p><input type="checkbox"/>班でまとめた解決策の提案を理由とともに発表させていく。</p> <p>◆班として意見をまとめることができている。</p> <p><input type="checkbox"/>可能性のある提案を説得できるような形で発表させていく。</p> <p><input type="checkbox"/>発表の中で疑問点も聞くように指示する。</p> <p>◆発表の役割分担ができている。</p>
終末 10	<p>5 解決策の提案について専門家の考えを聞く。【情報の相交流性】</p>	個	<p><input type="checkbox"/>話の中から気が付いたことを書き留めておくように指示する。</p>
<p>まとめ：タンチョウとともに生きる方法はある。地元産業と共生できる自然環境を作っていかなければならない。</p>			
	6 次時の学習について知る。	個	

(3) 本時の評価

- ・社会的問題の解決策を話し合い、有効な提案として発表に結びつけることができたか。【社会的な思考・判断・表現】
- ・新聞記事や統計資料から社会的問題を把握し、社会状況の傾向を書くことができたか。【資料活用の技能】

(4) 板書計画

5め 政て：

梅彦胡は夕
の世論社
を横取
る人
な増えた
の率
が鶴
が有名
たつた
た多し手
卓ウの事

(5) 資料

片夕夕 4

を生きてく
ためにの生
態環境は

会を動か
す
地元産業と

者毎々きる
自然環境を

つくってい
かなければ

ならない。

しがた